

公益社団法人全国解体工事業団体連合会

第 65 回(通算 177 回)理事会議事録



日 時	令和 8 年 3 月 4 日 (水) 14:00~16:21	場 所	全解工連事務局 (東京都中央区日本橋 3-14-5 祥ビル 5F)																																				
出席者	<p>[理事定数 19 名] 出席理事 17 名</p> <table border="0"> <tr> <td>井上 尚 (代)</td> <td>寺島 敏文</td> <td>(欠席理事)</td> <td>(出席監事)</td> </tr> <tr> <td>小野 雅敏</td> <td>新留 司</td> <td>古賀 純子</td> <td>大森 圭樹</td> </tr> <tr> <td>上原 満</td> <td>福本 克也</td> <td>室石 泰弘</td> <td>喜讀 宣友</td> </tr> <tr> <td>河野富美男</td> <td>堀井 太一</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>木村 順一</td> <td>矢野 智孝</td> <td>(オブザーバー参加)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小山 明男</td> <td>山崎 篤男</td> <td>山本 徳光</td> <td></td> </tr> <tr> <td>坂田 幹夫</td> <td>山本 和宏</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>平 典明</td> <td>稲村 行彦 (執)</td> <td>(代): 代表理事</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高橋 仁</td> <td></td> <td>(執): 業務執行理事</td> <td></td> </tr> </table>			井上 尚 (代)	寺島 敏文	(欠席理事)	(出席監事)	小野 雅敏	新留 司	古賀 純子	大森 圭樹	上原 満	福本 克也	室石 泰弘	喜讀 宣友	河野富美男	堀井 太一			木村 順一	矢野 智孝	(オブザーバー参加)		小山 明男	山崎 篤男	山本 徳光		坂田 幹夫	山本 和宏			平 典明	稲村 行彦 (執)	(代): 代表理事		高橋 仁		(執): 業務執行理事	
井上 尚 (代)	寺島 敏文	(欠席理事)	(出席監事)																																				
小野 雅敏	新留 司	古賀 純子	大森 圭樹																																				
上原 満	福本 克也	室石 泰弘	喜讀 宣友																																				
河野富美男	堀井 太一																																						
木村 順一	矢野 智孝	(オブザーバー参加)																																					
小山 明男	山崎 篤男	山本 徳光																																					
坂田 幹夫	山本 和宏																																						
平 典明	稲村 行彦 (執)	(代): 代表理事																																					
高橋 仁		(執): 業務執行理事																																					
議案	<p>第 1 号議案 事務局職員の採用について 第 2 号議案 賛助会員入会審査について (株Archi Village) 第 3 号議案 全解工連会長表彰 (団体・個人) 受賞者の推薦について 第 4 号議案 全解工連会長顕彰受賞者の推薦について 第 5 号議案 第 15 回通常総会 (山形県) の実施要領について 第 6 号議案 (一社) 建設技能人材機構 (J A C) への入会について 第 7 号議案 解体工事施工技術講習の費用助成について 第 8 号議案 積立金規程の再制定について (継続審議) 第 9 号議案 特定費用準備資金 (登録解体工事講習等) の積立について 第 10 号議案 令和 8 年度事業計画 (最終案) について 第 11 号議案 令和 8 年度収支予算 (最終案) について 第 12 号議案 令和 8 年度国土交通大臣顕彰推薦者の変更について</p>																																						
協議事項	<p>(1) 第 8 期役員候補者の推薦について (2) 第 8 期委員会体制について</p>																																						
業務執行状況報告	<p>(1) 第 64 回 (通算 176 回) 理事会 (12/16) (2) 解体工事施工技士登録更新講習 (経過) 及び登録更新 (結果) (3) 令和 7 年度安全優良職長厚生労働大臣顕彰式典 (1/16) (4) 令和 7 年度第 2 回解体工事施工技術講習テキスト改訂委員会 (1/26) (5) 令和 7 年度第 10 回解体工事施工技士試験委員会 (1/26) (6) 事務局職員の退職 (1/28) (7) 建設業許可事務ガイドラインについての国土交通省との意見交換 (1/30) (8) 令和 7 年度第 2 回登録解体基幹技能者講習運営委員会 (1/30) (9) 全解工連 青年部会と自由民主党青年局との意見交換会 (1/30) 延期 (10) 令和 7 年度正会員団体代表者・事務局長会議 (1/30) (11) 令和 8 年新年賀詞交歓会 (1/30) (12) 第 8 回国際 建設・測量展 (C S P I) 出展第 2 回実行委員会 (2/4) (13) 令和 7 年度解体工事施工技士試験合格発表 (2/6) 及び新規登録状況 (経過) (14) 令和 7 年度第 3 回登録解体基幹技能者講習委員会 (2/12) (15) 令和 7 年度第 6 回全解工連 青年部会ブロック代表者会議 (2/24・リモート会</p>																																						

	<p>議)</p> <p>(16) 令和 7 年度第 1 回関係省庁対応委員会 (3/4)</p> <p>(17) 解体技能者能力評価の認定状況</p> <p>(18) 解体工事における労務費の基準について (基準値、標準見積書関係)</p> <p>(19) 会員団体主催会議等への出席 (結果)</p> <p>① 中部ブロック会議 (2/13)</p> <p>② 東北・北海道ブロック会議 (2/25)</p> <p>(20) 外部の会議等への出席 (結果)</p> <p>① 厚生労働省((株)ユニバース委託): 改正石綿障害予防規則の周知広報事業検討会 (1/19)</p> <p>② (一財) 建材試験センター: アスベスト含有建材データベース運営委員会 (1/21)</p> <p>③ 環境省: 第 10 回太陽光発電設備リサイクル制度小委員会 (1/23・web)</p> <p>④ 環境省((株)環境管理センター委託): 第 2 回災害時における石綿飛散防止に係る取り扱いマニュアル検討会 (2/13・web)</p> <p>(21) その他、員外理事からの報告 (①日建連②全建③全産連④学識者)、各ブロックの活動、周辺状況等</p>
資料	<p>資料 65-1 第 64 回理事会議事録 (写し)</p> <p>資料 65-2 解体工事施工技士登録更新講習会場別申込者数等一覧</p> <p>資料 65-3 令和 7 年度安全優良職長厚生労働大臣顕彰受賞者決定通知書</p> <p>資料 65-4 第 2 回解体工事施工技術講習テキスト改訂委員会議事録 (写し)</p> <p>資料 65-5 第 10 回解体工事施工技士試験委員会議事録 (案)</p> <p>資料 65-6 国土交通省との意見交換の概要</p> <p>資料 65-7 第 2 回登録解体基幹技能者講習運営委員会議事録 (写し)</p> <p>資料 65-8 令和 7 年度正会員団体代表者・事務局長会議議事録 (写し)</p> <p>資料 65-9 令和 8 年新年賀詞交歓会次第及び出席者名簿</p> <p>資料 65-10 C S P I 出展第 2 回実行委員会議事要旨</p> <p>資料 65-11 解体工事施工技士試験受験者統計表</p> <p>資料 65-12 第 3 回登録解体基幹技能者講習委員会議事録 (写し)</p> <p>資料 65-13 第 6 回全解工連 青年部会ブロック代表者会議議事録 (案)</p> <p>資料 65-14 第 1 回関係省庁対応委員会議事次第</p> <p>資料 65-15 解体技能者能力評価数の推移</p> <p>資料 65-16 解体工事における労務費の基準値 (案)</p> <p>資料 65-17 解体工事から発生する建設廃棄物の排出量に関するアンケート調査の協力依頼</p> <p>資料 65-18 役員の選出に関する規程</p> <p>資料 65-19 委員会運営規程及び第 7 期委員会委員名簿</p> <p>資料 65-20 履歴書及び職務経歴書 (写し) 審議後回収</p> <p>資料 65-21 賛助会員入会申込書 (写し) 及び会社概要等</p> <p>資料 65-22 全解工連会長表彰 (団体・個人) 受賞候補者一覧表</p> <p>資料 65-23 全解工連会長顕彰受賞候補者一覧表</p> <p>資料 65-24 第 15 回通常総会開催案内 (案)</p> <p>資料 65-25 (一社) 建設技能人材機構の正会員入退会規程他</p> <p>資料 65-26 解体工事施工技術講習の費用助成 (案)</p> <p>資料 65-27 積立金規程 (再制定案)</p> <p>資料 65-28 特定費用準備資金の積立 (案)</p> <p>資料 65-29 令和 8 年度事業計画 (最終案)</p> <p>資料 65-30 令和 8 年度収支予算 (最終案)</p>

資料 65-31 令和 8 年度建設マスター候補者
追加資料 1 青森県の建設資材廃棄物の引渡完了報告制度
追加資料 2 違法白トラ規制強化に関する新聞記事のコピー

[理 事 会 成 立 報 告]

定刻の午後 2 時 00 分に至り、庄司事務局長が出席者の確認を行い、理事 19 名のうち 17 名の出席があるので、定款第 35 条の規定により理事会を開催し決議することができることを議場に報告した。また（一社）青森県解体工事業協会の山本徳光副会長のオブザーバー参加を議場に諮ったところ出席理事全員一致で承認した。

[議 長 選 出 等]

井上尚会長の開会の挨拶の後、定款第 34 条の規定により、井上尚会長が議長に就任し議案の審議に入った。

[議 事 録 署 名 人 選 出]

井上議長が定款第 36 条第 2 項の規定により、本理事会に出席した井上尚会長、大森圭樹監事及び喜讀宣友監事が議事録署名人となることを確認した。

- 井上 尚（山形県山形市久保田 2-1-47 / (一社)山形県解体工事業協会代表理事)
- 大森圭樹（東京都世田谷区喜多見 8-15-35 K・田中ビル 206 号 / 税理士法人 FOKs 代表社員)
- 喜讀宣友（熊本県熊本市中央区水前寺 6-27-20 / (一社)熊本県解体工事業協会代表理事)

[職 務 執 行 状 況 報 告]

稲村専務理事が、定款第 24 条第 5 項の規定に従い、会長及び専務理事の職務執行状況について報告した。

(1) 第 64 回（通算 176 回）理事会（12/16）

[報告者：稲村専務理事]

「令和 7 年 12 月 16 日に第 64 回（通算 176 回）理事会を開催した。資料 65-1 は議事録の写しである。」

(2) 解体工事施工技士登録更新講習（経過）及び登録更新（結果）

[報告者：稲村専務理事]

「解体工事施工技士登録更新講習は 2 月 4 日の東京会場を皮切りに全国 11 会場で実施する。事業計画 1,200 名に対して申込者は 1,218 名である。更新手続きのみを含めた登録更新者数は、事業計画 4,000 名に対して 4,229 名である。資料 65-2 は会場別申込者数等一覧である。」

(3) 令和 7 年度安全優良職長厚生労働大臣顕彰式典（1/16）

[報告者：稲村専務理事]

「令和 7 年度安全優良職長厚生労働大臣顕彰は、全解工連推薦の(株)山崎組 田邊信二さんが受賞され、令和 8 年 1 月 16 日に顕彰式典が東京都千代田区のイイノホールで開催された。資料 65-3 は受賞者決定通知書である。」

(4) 令和 7 年度第 2 回解体工事施工技術講習テキスト改訂委員会（1/26）

[報告者：福本副会長]

「令和 7 年度第 2 回解体工事施工技術講習テキスト改訂委員会を令和 8 年 1 月 26 日に開催し、

法規編については委託先の㈱ユニバースが4月上旬までに第1案を提出することになった。技術編については令和9年の改訂に向けて準備を進める。資料65-4は議事録の写しである。」

(5) 令和7年度第10回解体工事施工技士試験委員会 (1/26)

[報告者：稲村専務理事]

「令和7年度第10回解体工事施工技士試験委員会を令和8年1月26日に鉄鋼会館で開催し、令和7年度解体工事施工技士試験の合格基準点等を決定した。資料65-5は議事録案である。」

(6) 事務局職員の退職 (1/28)

[報告者：稲村専務理事]

「事務局職員の吉田仁氏が一身上の都合により令和8年1月28日付で退職した。」

(7) 建設業許可事務ガイドライン改正についての国土交通省との意見交換 (1/30)

[報告者：平副会長]

「令和6年の4月から令和8年の1月まで7回にわたり、建設業許可事務ガイドラインの改正について国土交通省と協議を行ってきたが、現時点で改正の必要性を認めないとの回答であった。国土交通省とはアプローチ方法を変えて引き続き協議していきたい。資料65-6は協議状況の概要である。」

(8) 令和7年度第2回登録解体基幹技能者講習運営委員会 (1/30)

[報告者：平副会長]

「令和7年度第2回登録解体基幹技能者講習運営委員会を令和8年1月30日に明治記念館で開催した。登録解体基幹技能者講習の講師にも参加してもらい、主に解体専用テキストの改訂について協議した。資料65-7は議事録の写しである。」

(9) 全解工連 青年部会と自由民主党青年局との意見交換会 (1/30) 延期

[報告者：稲村専務理事]

「令和8年1月30日に自由民主党青年局と全解工連 青年部会との意見交換会を予定していたが、国会解散及び総選挙により延期となった。現在、5月の開催で日程調整を行っている。」

(10) 令和7年度正会員団体代表者・事務局長会議 (1/30)

[報告者：稲村専務理事]

「令和7年度正会員団体代表者・事務局長会議を令和8年1月30日に明治記念館で開催した。第1部で令和8年度の事業計画を報告し、第2部で賛助会員によるプレゼンテーションを行った。資料65-8は議事録の写しである。」

(11) 令和8年新年賀詞交歓会 (1/30)

[報告者：稲村専務理事]

「令和8年新年賀詞交歓会を令和8年1月30日に明治記念館で開催した。当初、金子国土交通大臣が出席予定だったが、総選挙の実施で欠席となった。自由民主党の見坂参議院議員、元国土交通大臣の太田公明党常任顧問を始め関係省庁・関係団体等の来賓や正会員・賛助会員など約220名が出席した。資料65-9は会次第及び出席者名簿である。」

(12) 第8回国際建設・測量展(CSPI)出展第2回実行委員会 (2/4)

[報告者：矢野理事]

「第8回国際建設・測量展(CSPI)出展第2回実行委員会を、協賛賛助会員にも参加いただき令和8年2月4日に開催した。集客に関しては青年部会に全面協力してもらえることになった。展示方法は原則昨年を踏襲する。全解工連のプレゼン内容について大筋はできあがっているが、バランス等を考慮して完成させる。資料65-10は議事要旨である。」

<p>(13) 令和7年度解体工事施工技士試験合格発表(2/6)及び新規登録状況(経過)</p> <p>[報告者:周藤事業部長]</p> <p>「令和7年度解体工事施工技士試験の合格発表を令和8年2月6日に全解工連ホームページで公表し、同時に申込者全員に合否結果を郵送した。合格者は1,461名で合格率は63.6%だった。資料65-11は受験者統計表である。」</p>
<p>(14) 令和7年度第3回登録解体基幹技能者講習委員会(2/12)</p> <p>[報告者:高橋副会長]</p> <p>「令和7年度第3回登録解体基幹技能者講習委員会を令和8年2月12日に開催した。運営委員会から挙がってきた解体専用テキスト改訂案の精査及び令和8年度の講習考査問題の出題方法・担当割等を協議した。資料65-12は議事録の写しである。」</p>
<p>(15) 令和7年度第6回全解工連 青年部会ブロック代表者会議(2/24・リモート会議)</p> <p>[報告者:稲村専務理事]</p> <p>「令和7年度第6回全解工連 青年部会ブロック代表者会議を令和8年2月24日にリモートで開催した。第8回国際 建設・測量展の会期初日(6月17日)に全国の青年部会員を結集し、近隣の会場で意見交換会を開催すること、会報誌メビウスに青年部のページを設けて持ち回りで執筆すること等を協議した。資料65-13は議事録案である。」</p>
<p>(16) 令和7年度第1回関係省庁対応委員会(3/4)</p> <p>[報告者:福本副会長]</p> <p>「令和7年度第1回関係省庁対応委員会を本日の午前中に開催した。解体工事業における労務費の基準の作成状況及び建設業許可事務ガイドライン改正への国土交通省への協議状況等を報告し、今後の委員会活動として外国人材の活用問題等を協議した。資料65-14は議事次第である。」</p>
<p>(17) 解体技能者能力評価の認定状況</p> <p>[報告者:稲村専務理事]</p> <p>「令和8年1月末現在の解体技能者能力評価数は、レベル4が529人、レベル3が723人、レベル2が572人で合計1,824人である。(一財)建設業振興基金の申請手数料全額支援は今月末までとなっているので、この機会を利用しての申請促進を引き続きお願いしたい。資料65-15は解体技能者能力評価数の推移である。」</p>
<p>(18) 解体工事における労務費の基準について(基準値、標準見積書関係)</p> <p>[報告者:稲村専務理事]</p> <p>「令和7年12月に全面施行された改正建設業法では、技能者の処遇改善のため労務費の基準制度が導入された。解体工事における労務費の基準値については、住宅分野では、国土交通省が新築とともに解体に関しても歩掛調査を実施し、木造2階建て100㎡あたり33.87人・日で、職種を特殊作業員とした基準値が昨年12月に公表されている。木造以外の非木造については、現在調整中で、RC造を代表として歩掛の数値が示されない定性的な記載となるが、今年度内の中央建設業審議会WGを経て近々公表予定となっている。資料65-16は労務費の基準値に関する資料及び建設業法改正に伴う解体工事の見積・契約に関する事項をまとめた資料並びに国土交通省が公表したCCUSレベル別年収の概要である。」</p>
<p>(19) 会員団体主催会議等への出席(結果)</p> <p>[報告者:稲村専務理事]</p> <p>「前回の理事会以降、以下のブロック会議に出席した。」</p> <p>①中部ブロック会議(2/13)</p> <p>②東北・北海道ブロック会議(2/25)</p>

理事
第
た
[庄
ト
推
事
[木
[平
る
し
致
第
た
[庄
紹
面
[坂
数
「
が
生
は
席
第
申
[庄
あ
め
と
[平
を
第
請

(20) 外部の会議等への出席 (結果)

[報告者：稲村専務理事]

「前回の理事会以降、以下の外部の会議等へ出席した。」

- ①厚生労働省((株)ユニバース委託)：改正石綿障害予防規則の周知広報事業検討会 (1/19)
- ②(一財)建材試験センター：アスベスト含有建材データベース運営委員会 (1/21)
- ③環境省：第10回太陽光発電設備リサイクル制度小委員会 (1/23・web)
- ④環境省((株)環境管理センター委託)：第2回災害時における石綿飛散防止に係る取り扱いマニュアル検討会 (2/13・web)

(21) その他、員外理事からの報告 (①日建連②全建③全産連④学識者)、各ブロックの活動、周辺状況等

その他、井上議長が員外理事からの報告及び各ブロックの状況等について、各理事に報告を求めたところ以下の発言があった。

[小山理事]：「資料 65-17 は小山研究室で進めている“解体工事から発生する建設廃棄物の排出量に関するアンケート調査の協力依頼”である。引き続き協力をお願いしたい。」

[山本オブザーバー]：「追加資料 1 は青森県の建設資材廃棄物の引渡完了報告制度である。全解工連事務局からの要請で報告する。建設リサイクル法では発注者に対し、着工前の届出は義務付けられているが、工事完了後は工事の元請業者から発注者に報告することとされていて、行政に報告される仕組みにはなっていない。そこで青森県ではマニフェスト制度を採用し行政への報告を義務付ける制度を平成 29 年から開始した。不良・不適格業者を排除するための一つの方策として参考にさせていただきたい。」

[山崎理事]：「追加資料 2 は、違法白トラ規制強化に関する新聞記事のコピーである。昨年 6 月に成立した改正貨物運送事業法が令和 8 年 4 月 1 日から施行される。白ナンバーのトラックに貨物の運送を有償で委託してはいけないことが明確化された。違反した場合は 100 万円以下の罰金が課される。(一社)全国建設業協会会員の現場でも大変混乱しているのが実情である。元請建設業者団体宛に国土交通省から令和 8 年 2 月 10 日付で発出された事務連絡に具体例が記されているので参考にさせていただきたい。」

[高橋副会長]：「令和 8 年 2 月 16 日付 井上会長名で、板ガラスリサイクルガイドライン編集委員会委員推薦のお願いが(一社)東京建物解体協会 藤井会長宛に発出され、同協会の理事会で協議した結果、株式会社フォレストビレッジ代表取締役の森永朋氏を推薦したので報告する。」

[協 議 事 項]

報告終了後、第 1 号協議事項及び第 2 号協議事項の協議に入った。

第 1 号協議事項 第 8 期役員候補者の推薦について

議長の指示により庄司事務局長が、資料 65-18 に基づき第 8 期役員候補者の推薦について説明した。

[庄司事務局長]：「資料 65-18 は役員を選出に関する規程である。第 6 条第 1 項に、員外理事については①学識経験者 3 名以内、②建設業関係団体 2 名以内、③廃棄物処理業関係団体 1 名について理事会が候補者を推薦できるとある。次回の理事会で総会に提出する役員候補者を審議するので、本日員外理事候補者について協議していただきたい。」

[井上議長]：「現職の員外理事の方々には次期も引き受けていただきたいが如何か。」

[小山理事・山崎理事]：「お引き受けする。」

[寺島理事]：「個人としては(一社)日本建設業連合会の常務執行役を 3 月末で退任するが、後任を選定して団体としては引き続き理事をお受けする。」

[庄司事務局長]：「本日欠席の室石理事には、引き続いての理事就任を内諾いただいている。」

[稲村専務理事]：「稲村は今期で退任予定で、国土交通省とのパイプ役として後任を調整中である。」

協議の結果、小山理事・山崎理事・室石理事を理事会推薦員外理事候補とすることを出席理事全員一致で決議した。寺島理事の後任者も決定次第員外理事に推薦すること及び古賀理事には事務局を通して重任を打診することを付帯決議した。

第2号協議事項 第8期委員会体制について

議長の指示により庄司事務局長が資料 65-19 に基づき、第8期委員会体制について説明した。

[庄司事務局長]:「令和8年6月5日に役員改選があり、同時に第8期の委員会体制もスタートする。役員改選後に理事会を開いて、そこから委員会について協議し各ブロックに委員の推薦を募るという従来のやり方ではスピード感に欠けるとの指摘があったので、今回の協議事項とした。資料 65-19 は委員会運営規程及び第7期の委員会委員名簿である。」

[木村副会長]:「現在の4常設委員会及び2特別委員会の体制変更は不要だと思う。」

[平副会長]:「第6条の全解工連ビジョン委員会の業務に、47都道府県全てに会員を配置することを追加していただきたい。」

協議の結果、第8期の委員会体制は変更しないこと及び全解工連ビジョン委員会の業務として47都道府県全てに正会員団体を配置するという項目を追加することを出席理事全員一致で決議した。

[議案審議]

報告及び協議終了後、第1号議案から第11号議案の審議に入った。

第1号議案 事務局職員の採用について

議長の指示により庄司事務局長が資料 65-20 に基づき、事務局職員の採用について説明した。

[庄司事務局長]:「1月28日付での事務局職員の退職に伴い急遽補充が必要になり、庄司の紹介で小澤浩治氏が入職を希望している。資料 65-20 は履歴書及び職務経歴書である。会長面接が明日なので、会長面接で合格すればという条件付きで承認いただきたい。」

[坂田理事]:「前任の吉田氏が3か月弱で退職している。小澤氏も職務経歴書を見ると転職回数が多いのが懸念される。」

[庄司事務局長]:「小澤氏は企業向け歯科検診業務で独立して、その際行政書士として庄司が仕事の依頼を受けて以来の付き合いである。残念ながら独立した会社が思うようにいかず、生活費の補填のために色々な職務経験があるというのが実情で、決して忍耐力が無いわけではなく責任感も強い人である。」

審議の結果、会長面接合格を付帯条件として、小澤浩治氏の事務局職員としての採用を出席理事全員一致で承認した。

第2号議案 賛助会員入会審査について (株)Archi Village)

議長の指示により庄司事務局長が資料 65-21 に基づき、(株)Archi Village の賛助会員入会申請について説明した。

[庄司事務局長]:「資料 65-21 は(株)Archi Village からの賛助会員入会申請書及び会社概要である。建設DXを主業務としている会社だが、A4で1枚程度で会社及び商品概要の提出を求めたが提出が無かったので、事務局でホームページから会社概要のみをダウンロードし資料として添付した。」

[平副会長]:「審議するには資料が不足している。」

審議の結果、(株)Archi Village の賛助会員入会は検討資料不足のため継続審議とすることを出席理事全員一致で決議した。

第3号議案 全解工連会長表彰 (団体・個人) 受賞者の推薦について

議長の指示により庄司事務局長が資料 65-22 に基づき、全解工連会長表彰 (団体・個人)

に
議者解
す
第
し
制
事
行
解
な
第
た
大
体
運
ら
入
残
及
員
第
つ
し
追
鹿
が
と
第
つ
し
か
り

受賞者の推薦について説明した。
[庄司事務局長]：「資料 65-22 は、各ブロックから推薦された令和 8 年度全解工連会長表彰候補者（個人 9 名及び団体 2 団体）である。東北・北海道ブロック推薦の横山真司氏は現在 66 歳で、65 歳以下とする年齢規定には抵触している。関東ブロック推薦の奥原克巳氏については団体役員歴は無い。団体表彰の候補は、（一社）岩手県解体工事業協会と（一社）岡山県解体工事業協会が挙げられている。」
[坂田理事]：「一昨年は特例として 65 歳を超える候補者を承認したと記憶している。」
[新留理事]：「昨年も同様の議論になったが、年齢規定がある以上は特段の事情が無い限りはそれを順守すべきである。」
[山本理事]：「会長表彰の年齢制限は、大臣表彰の規定に準拠していると認識している。大臣表彰の候補者にはなれないという前提のもとでブロックが推薦するというのであれば認めても良いのではないか。」
審議の結果、採決を取り、出席理事の 3 分の 2 以上の同意があるので事務局提出の会長表彰候補者（個人）全員を承認した。団体表彰候補については、出席理事全員一致で承認した。

第 4 号議案 全解工連会長顕彰受賞者の推薦について
議長の指示により庄司事務局長が資料 65-23 に基づき、全解工連会長顕彰候補者について説明した。
[庄司事務局長]：「資料 65-23 は各ブロックから提出された令和 8 年度全解工連会長顕彰候補者名簿である。11 名選出されているが、事務局で規定に照らして精査したところ、解体工事施工技士の資格及び経験年数等、全員推薦要件を満たしている。」
審議の結果、令和 8 年度会長顕彰候補者について、事務局提出の 11 名を出席理事全員一致で承認した。

第 5 号議案 第 15 回通常総会（山形県）の実施要領について
議長の指示により庄司事務局長が資料 65-24 に基づき、第 15 回通常総会（山形県）の実施要領について説明した。
[庄司事務局長]：「資料 65-24 は全解工連第 15 回（通算 52 回）通常総会（山形県）の開催通知（案）である。ホテルの手配と会場における参加人数把握の都合で、（一社）山形県解体工事業協会から先行して正会員と賛助会員には案内を出している。次年度からは 12 月の審議事項とするが、今回は会長・副会長の承認のもと先行案内したことをご容赦いただきたい。総会は令和 8 年 6 月 5 日（金）14:00～16:00 にメトロポリタン山形で開催し、懇親会は同会場において 18:00～20:30 で実施し会費は 25,000 円、親睦会は例年どおり翌日 6 日にゴルフコンペ及びバス観光とする案である。」
審議の結果、全解工連第 15 回（通算 52 回）通常総会の実施については事務局案どおりとすることを出席理事全員一致で決議した。

第 6 号議案 （一社）建設技能人材機構（JAC）への入会について
議長の指示により庄司事務局長が資料 65-25 に基づき、（一社）建設技能人材機構への入会について説明した。
[庄司事務局長]：「資料 65-25 は（一社）建設技能人材機構（JAC）の入退会規程及び会費である。前回の理事会で協議事項として協議いただき今回審議事項として挙げた。企業が特定技能 1 号として外国人材を採用するには、（一社）建設技能人材機構の正会員となっている建設業団体に所属するか、または個社で賛助会員に入会しなければならない。全解工連の会員企業の要望もあり入会を承認いただきたい。」
審議の結果、（一社）建設技能人材機構（JAC）への入会を出席理事全員一致で承認した。

第 7 号議案 解体工事施工技術講習の費用助成について
議長の指示により庄司事務局長が資料 65-26 に基づき、解体工事施工技術講習の費用助成

候
36
て
解
は
臣
め
表
こ。
て
補
事
致
施
通
工
事
総
場
コ
と
会
費
特
る
会
こ。
成

について説明した。

[庄司事務局長]：「理事会において2回協議していただき、今回審議事項に挙げた。前回の協議で、期待される効果を明確にするように指示があったので、①受講者減を食い止め、受講者増につながる、②若手社員の教育に有効であり、業界全体のレベルアップにつながる、③解体工事施工技士試験受験者増の相乗効果が見込める、の3点をあげた。」

審議の結果、解体工事施工技術講習受講料について、25歳以下の受講者に対して半額助成することを出席理事全員一致で決議した。

第8号議案 積立金規程の再制定について（継続審議）

議長の指示により庄司事務局長が資料65-27に基づき、積立金規程の再制定について説明した。

[庄司事務局長]：「前回からの継続審議である。資料65-27は積立金規程の再制定案である。制度改正に伴い全面的に改正が必要となり、前規程を廃止して再制定する案である。大森監事及び山崎理事にご協力いただき、附則として施行期日を令和8年4月1日とすること、施行をもって旧規程を廃止すること、及び従前の解体工事施工技士資格制度運営積立金・登録解体工事講習実施費用積立金・登録解体基幹技能者講習費用実施積立金は目的外取崩しではなく、公益充実資金に統合することを追加した。」

審議の結果、事務局提出の積立金規程の再制定案を出席理事全員一致で承認した。

第9号議案 特定費用準備資金（登録解体工事講習等）の積立について

議長の指示により大森監事が資料65-28に基づき特定費用準備資金の積立について説明した。

[大森監事]：「資料65-28は令和7年度の特定費用準備資金の積立変更（案）である。登録解体工事講習は令和8年度に更新し令和13年度まで継続する予定であり、安定的及び継続的な運営の確保のために2,000万円の追加積立を行う。登録解体基幹技能者講習は、令和9年から始まる更新講習のEラーニングシステム導入費用及びスマートフォン申込対応システム導入費用等のために1,000万円を追加で積み立て、追加分の取り崩しは令和8年度以降の計画残期間（7年間）で均等に取崩しを行うという案である。」

審議の結果、特定費用準備資金として、登録解体工事講習実施費用積立預金に2,000万円及び登録解体基幹技能者講習実施費用積立預金に1,000万円を積み立てることを出席理事全員一致で承認した。

第10号議案 令和8年度事業計画（最終案）について

議長の指示により周藤事業部長が資料65-29に基づき、令和8年度事業計画（最終案）について説明した。

[周藤事業部長]：「資料65-29は令和8年度事業計画（最終案）である。前回の理事会で協議していただいた事項等を踏まえて若干の修正をした。公益事業1の解体工事施工技術講習は、追加開催地を鹿児島県に決定した。それに伴い公益事業2の解体工事施工技士試験の会場も鹿児島県とする。同じく公益事業2の解体工事施工技士登録更新講習は、坂田理事から提案があり、会員のいない広島県での実施ではなく岡山県での実施に変更した。その他は第一案と変更はない。」

審議の結果、事務局提出の令和8年度事業計画（最終案）を出席理事全員一致で承認した。

第11号議案 令和8年度収支予算（最終案）について

議長の指示により庄司事務局長が資料65-30に基づき、令和8年度収支予算（最終案）について説明した。

[庄司事務局長]：「資料65-30は令和8年度収支予算（最終案）である。前回理事会の第一案から、状況の変化及び令和7年度決算の見込みを踏まえて修正した。常勤役員2名体制により役員報酬及び給料手当を修正した。また役員退職慰労金及び退職金費用を計上した。事業

支出としては、CSP I 出展料等の各事業費への振り分けを踏まえて宣伝広告費を増額している。解体工事施工技術講習テキストの外部委託のため、同事業委託費を増額した。登録解体基幹技能者講習事業費は、E ラーニングシステム及びスマートフォン対応システム導入のため委託費を増額している。定期預金取崩として、第 9 号議案で承認いただいた登録解体基幹技能者講習積立金の増額分を追加した他、退職給付積立預金を計上している。その他は第一案と大きな変更はない。」

審議の結果、事務局提出の令和 8 年度収支予算（最終案）を出席理事全員一致で承認した。

第 12 号議案 令和 8 年度国土交通大臣顕彰推薦者の変更について

議長の指示により庄司事務局長が資料 65-31 に基づき、令和 8 年度国土交通大臣顕彰推薦者の変更について説明した。

[庄司事務局長]：「前回の理事会で令和 8 年度国土交通大臣顕彰推薦者を承認いただいたが、（一社）福岡県解体工事業協会の中村基輝氏から辞退の申し出があった。理由は申請に必要な CCUS への登録を行いたくないとのことである。この規定は今回から追加されたものであり、候補者を募集する段階では事務局としては把握していなかったことをご承知おき願いたい。（一社）福岡県解体工事業協会からは、代わりに中村浩司氏を変更した推薦者として承認いただきたいとのことである。」

審議の結果、令和 8 年度国土交通大臣顕彰推薦者を中村浩司氏とすることを出席理事全員一致で承認した。

【その他申合せ等】

議長がその他について議場に諮ったところ以下の発言があった。

[木村副会長]：「国土交通省から、主に建設リサイクル法に基づく解体工事業登録業者のレベルアップを目的として、解体工事施工技術講習受講への働きかけを行いたいとの要望が出されている。それに伴い、国土交通省及び都道府県に配布していただく講習のチラシを 50,000 部作成する予定でいる。内容については、技術・安全委員会の矢野委員長と登録解体基幹技能者講習委員会の高橋委員長にお願いしたい。」

[高橋副会長・矢野理事]：「承知した。」

[坂田理事]：「報告事項 15 で、CSP I 初日に合わせて全国の青年部会員が集まり、近隣の会場で意見交換会を開催する予定との報告があった。その費用を全て青年部会に負担させるのではなく、親会からある程度の支援ができないか。」

[井上議長]：「青年部会に丸投げするつもりは毛頭ない。案件ごとに理事会で協議し必要な費用は全解工連で負担していく。」

次回の理事会は令和 8 年 5 月 15 日（金）午後 2 時から全解工連事務局で開催することが申し合わされた。

【閉 会】

以上をもって議事のすべてが終了し、午後 4 時 21 分に議長の閉会宣言によって第 65 回理事会を閉会した。

以上の議決を明確にするため、代表理事及び出席した監事がこれに署名捺印する。

令和8年3月4日

公益社団法人全国解体工事業団体連合会 第65回理事会

代表理事

井上 尚



監

事

大森 幸樹



監

事

喜讀 豊友



て
解
の
基
第

上。

薦

る、

要

で

い

承

員

へ

さ

00

技

の

る

費

申

理